

令和5年度第1回三鷹市地域公共交通活性化協議会議事要旨

1. 日時

令和5年7月27日（木） 午後1時30分～

2. 場所

本庁舎3階 協議会室

3. 出席者

【委員】出席23名、欠席4名 【事務局】5名 【傍聴者】5名

4. 主な内容

(1) 委嘱状交付（席上配布）

(2) 会長挨拶

(3) 市長挨拶（代理：久野副市長）

(4) 議事 協議事項

ア みたかシティバスのダイヤ改正について

イ 井の頭地区・大沢地区の実証運行の延長について

(5) 議事 報告事項

ア 三鷹市交通ネットワーク全体構想（骨子案）について

イ その他

■議事

協議事項 ア みたかシティバスのダイヤ改正について（資料1）

- ・事務局より、みたかシティバスのダイヤ改正について、資料に基づいて変更点を説明した。

概要

- ・明星学園ルートについて、小中学生の通学時の利用により車内が混雑しており、地域の方からの増便要望が多かったため、7時50分前後の時間に1本増便するダイヤ改正を行う。
- ・新川・中原ルートについて、新型コロナウイルスの影響により早朝便と最終便を減便した臨時ダイヤで運行しているが、コロナ禍前の利用状況まで回復することは難しく、令和6年度のバス運転者の改善基準告示の改正により、バス運転士が

不足する状況であることから現在の臨時ダイヤを通常ダイヤとするダイヤ改正を行う。

- ・明星学園ルート、新川・中原ルートともに令和5年9月19日（火）に改正予定。
8月下旬頃から周知を行う。

【委員発言】

- ・明星学園ルートについて、土日も増便するのか。

【事務局回答】

- ・部活動等があるため、土日も増便する。

■議事

協議事項 イ 井の頭地区・大沢地区の実証運行の延長について（資料2-1、2-2）

- ・事務局より資料に基づいて、実証運行の延長について説明を行った。
- ・現在実施中の実証運行については、利用実績や利用者アンケート等の結果について説明を行った。（資料2-1）
- ・評価・検証の結果をもとに、井の頭地区・大沢地区実証運行の延長について、内容の説明を行った。（資料2-2）

【委員発言（井の頭住民協議会）】

- ・井の頭地区の小型EVバスは停留所を増やしてほしいという声が非常に強い。

【事務局発言】

- ・黒門方面等、停留所の要望は把握しているが、まずは実現可能性の高いところから延伸した。10月以降は系統が3ルートになるので、その点と合わせて地域への説明を丁寧に行っていく。

【委員発言（大沢住民協議会）】

- ・井口・深大寺地区の交通不便地域の解消をしたいことは理解できるが、デマンド交通のエリアを拡大すると、現状よりも予約が取りづらくなるのではないか。

【事務局発言】

- ・エリアの拡大でサービスレベルがどのようになるかは実証運行の検証ポイントの

ひとつだと考えている。予約状況や利用状況等に注視して実証運行を検証していきたい。

【委員発言】

- ・デマンドの車両2台の待機場所は変更するのか。

【事務局発言】

- ・確定ではないが、大沢と井口・深大寺エリアに各1台待機することを考えている。

【委員発言（大沢住民協議会）】

- ・井口・深大寺地区にエリアを拡大しても大沢地区での運行について影響はないのか。

【事務局発言】

- ・デマンドの利用状況のデータによると、1日の稼働率が約25%程度であったことから今回のエリアを設定した。乗降ポイントの設定については、運行事業者とも調整を行い、まずは必要最小限に絞った形で設定した。実証運行を通し、利用状況にどのような変化があるか検証したいと考えている。

【委員発言（大沢住民協議会）】

- ・台数はそのままエリアを拡大することについて、運行事業者としては問題ないのか。

【委員発言（タクシー事業者）】

- ・運行事業者としては大沢のデマンドは大変有効だと考えている。エリアの拡大で懸念の声もあると思うが、市もこれまで形だけではなく、きめ細かくアプローチして、検討したものをやられてきているので、今後も市の取り組みに期待したい。

【会長発言】

- ・実証運行なので、問題が出たら、都度改善していくという捉え方でご理解いただきたい。

【委員発言】

- ・大沢地区は坂があり、道が狭いエリアの交通課題を解決するためにデマンド交通を導入するという趣旨が理解できたが、井口・深大寺エリアには同じような交通課題があるのか。また、拡大目的地エリアについて、拡大する目的を教えてください。

【事務局発言】

- ・今回拡大する井口・深大寺エリアも交通不便地域であり、その課題を解決したいと考えている。拡大目的地エリアは、これまでの利用実績でエリア内の移動では買い物や通院での利用が多く見られたことから、大沢地区と今回拡大する井口・深大寺エリアの行き先となりうるスーパーや病院を目的地エリアとして設定した。

【委員発言】

- ・井口・深大寺エリアを拡大するにあたり、このエリアの交通課題の整理をした方がよい。今回の拡大範囲が交通不便地域の解決につながっているのか疑問に感じる。

【会長発言】

- ・大沢・井口・深大寺エリアの交通不便地域の解消が1番の目的であるが、デマンド車両を有効活用できるエリアを設定されたのではと拝察する。

【事務局発言】

- ・お見込みのとおり、交通不便地域の解消が目的の1つに挙げられる。また、評価・検証資料にあるように、乗車後の行き先が病院・買い物が多かったことから、より利便性を高めるエリアの設定を行った。

【委員発言】

- ・大沢地区の利便性向上のために目的地を拡大した結果、行政的に課題であった井口・深大寺エリアの交通不便地域も解決できると考えて、今回のエリアやスポットを設定したと拝察する。井口・深大寺エリアへ説明する際は、このような事情を丁寧に説明し、理解を求める必要があると考える。

【事務局発言】

- ・井口・深大寺エリアの住民協議会とケアネットには今年度に入ってから役員会等に定期的に出席し、説明をしている。大沢で運行中のため、デマンドを認知している人も多く、賛成的な意見をもらっている。

【委員発言（タクシー事業者）】

- ・仮に今回のエリア拡大が成功し、他地区への展開やより広いエリアへの拡大と話が進んでも、本業との兼ね合いからタクシー事業者としては受けられない可能性があることはご理解いただきたい。

【委員発言】

- ・実証運行中のエリアで利用していない人にもアンケートを取るべき。

【事務局発言】

- ・コミュニティセンターにアンケートを設置するなどは今までも実施している。
住民協議会と対話を継続し、利用していない人の意見を拾っていききたい。

【委員発言】

- ・実証運行に係る数値目標はあるのか。

【事務局発言】

- ・明確な数値目標は設定していない。バスや電車に比べて乗車定員が少ない乗り物のため、人数では測れない移動利便性の向上をどのような数値目標にするのかは今後の検討課題だと認識している。

【委員発言】

- ・電話予約は交通弱者にとって大変ありがたいので続けてほしい。また、割引制度が始まった障がい者や高齢者へアンケート等でどのような利用の仕方をしているのか調査しても面白いと思う。

【事務局発言】

- ・利用者アンケートについては今後評価・検証を行う中で検討していく。

■議事

報告事項

ア 三鷹市交通ネットワーク全体構想（骨子案）について

- ・事務局より、三鷹市交通ネットワーク全体構想の骨子案について、資料に基づいて概要を説明した。（資料3）

【委員発言（バス事業者）】

- ・交通事業者の人手不足は深刻である。既存の路線網の維持も難しい状況なので、路線バスの拡充は楽観的すぎると考える。人手不足の状況も踏まえ、全体構想をまとめてほしい。

【会長発言】

- ・海外では宅配業者が荷物以外に人を運ぶモデルも出ている。人手不足は重要な問題なので、考慮する必要があると考える。

【委員発言】

- ・「4 まちづくりと連携した交通ネットワーク」の地図が分かりづらい。

【委員発言】

- ・障がい等で移動にハードルがある人にとって、バス、タクシー、ハンディキャブと移動方法に選択肢があることはありがたい。骨子案にある「福祉分野との連携」についての記載は策定時まで残してほしい。

【委員発言】

- ・新たな組織づくりの中にある新たな協議体には住民協議会や福祉団体といった市民の人に参加してもらいたい。

イ その他

【事務局】

- ・武蔵野市下水道工事に伴うムーバス7号路線の迂回について武蔵野市より情報提供があった。10月2日から12月28日の平日に下水道工事の関係でムーバス7号路線（三鷹・境循環共同運行ルート）について、一部ルートを迂回して運行を行う。7月31日の武蔵野市地域公共交通活性化協議会で諮られる予定。
- ・調布市の北部地域でデマンド運行の実証運行を予定していると調布市から情報提供があった。調布市外の乗降ポイントとして、三鷹市役所、三鷹中央防災公園・元気創造プラザ、杏林大学病院を検討しているとのこと。8月下旬の調布市地域公共交通活性化協議会で諮られる予定。
- ・次回の活性化協議会は、令和5年10～11月頃の開催を予定している。